2017年号　関西大学

博修士会会報

Alumni Bulletin For K.U.Masters and Doctors　2017年7月1日発行

▲イノベーション創生センター

ごあいさつ

関西大学博修士会会長　**北嶋　弘一**

母校関西大学は昨年創立130周年を迎え、目標募金額も達成して記念事業もすべて順調に運び、次の150年に向かって新たなスタートを切りました。

関西大学博修士会は、昭和27（1952）年に設立されて本年創立65年目を迎えます。会員の皆様におかれましては、各地ならびに各界においてご清祥にてますますご活躍のこととお慶び申し上げますとともに、本会の活動に対しまして平素より心温まるご助言をはじめ特別協力金のご寄付など数々のご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

日本を代表する総合電機メーカーの東芝が大きな赤字を計上し、先行きの不安を抱かせております。一方では、欧米でイスラム国によるテロが多発している現状をみると世界的不安がより一層増してきております。安倍政権の継続により我が国経済は何とか安定を保っており、学生の就職状況も好調を維持していることが何より明るい状況であります。

これまでの関西大学大学院修了生の総数は20,000人を超え、校友会組織の中でも大所帯の同窓会として成長を遂げております。現在の関西大学大学院は、法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、理工学、外国語教育学、心理学、社会安全、東アジア文化、ガバナンス、人間健康の13研究科博士課程前期課程および同後期課程と、法務研究科、会計研究科、心理学研究科（心理臨床学専攻）の3専門職学位課程の計16研究科を擁する我が国屈指の大学院に発展、成長しております。

去る3月21日に挙行されました大学院学位記授与式では、588人の修士と72人の専門職を合せた660人の修了生および43人の博士を本会の新たなメンバーとして迎えるとともに、昨年9月期の学位記授与式では21人の修士と7人の専門職の計28人の修了生および6人の博士を迎えました。また、4月3日に行われました大学院入学式では16研究科742人および昨年度秋学期の入学生26人を加えた768人のフレッシュな院生を迎え、関西大学の学問および研究の中枢としてますます今後の母校飛躍の一翼を担っていただくことを切に期待するものであります。

下記にご案内のとおり、来る7月29日（土）に平成29年度博修士会総会・学術講演会を開催し、総会後の学術講演会は昨年度「文部科学省・私立大学ブランディング事業」に採択されました“人に届く関大メディカルポリマーによる未来医療”のプロジェクトを率いておられる化学生命工学部教授の大矢裕一先生をお招きして母校創立130周年記念事業として創設されましたイノベーション創生センターにおいて講演いただきます。会員の皆様には是非ともご出席頂き、大矢裕一先生と親しく意見を交わしていただきたいと存じます。

会員の皆様には、公私にわたり大変ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、7月29日（土）に開催の平成29年度関西大学博修士会総会・学術講演会ならびに懇親会にご出席下さいますよう心よりお待ち申し上げております。

平成29年度　総会・講演会・懇親会のご案内

日　時：平成29年7月29日（土）　13:00より受付開始

場　所：関西大学千里山キャンパス：イノベーション創生センター2階：対話スペース（T-Space）

内　容：**第1部：総会**
13:30～14:30　2階・対話スペース（T-Space）
第2部：学術講演会
14:30～15:30　2階・対話スペース（T-Space）
演題：「人に届く」関大メディカルポリマーによる未来医療の創出
講師：大矢 裕一 先生（関西大学化学生命工学部教授）
第3部：懇親会
15:40～17:00　新関西大学会館南棟 4階 レストラン「チルコロ」

総会・懇親会参加者：会員＋会員の紹介者に限定（事前申込制：郵便振替とする）

総会・懇親会会費：会員と同伴者は5,000円、院生会員は無料

お願い：ご出席の方は、7月21日（金）までに、事前に郵便振替でお申し込み下さい。

■郵便振替：00900-2-68733
関西大学博修士会：
通信欄に「総会費」など
ご記入下さい。
■問合せ先：博修士会総務部
■FAX：06-6380-8476
校友会 気付　博修士会 宛
■e-mail：kandaimd@muse.ocn.ne.jp
（総務部：中原 宛）
■はがき：〒564-8680
吹田市山手町3-3-35
関西大学校友会事務局気付　博修士会

関西大学
化学生命工学部教授
大矢　裕一 先生

会員からのメッセージ

感謝の季節

朱　穎
（平成28 修 商学研究科）

また「暖かな日差しの中に、春の足音が聞こえてくるこのよき日に…」といった挨拶の言葉を耳にする季節になりました。これは私が関大で過ごした三つ目の春であり、感謝すべき時期となります。二年前、現在と同じく期待と不安が入り混じる桜の季節に関西大学の大学院に入学しました。日本語が母語でない留学生であることや、学部時代の専門と異なる分野に学ぶことなどで心配が尽きませんでした。このような私を助けて下さったのは、指導教授の陶山先生をはじめ、授業で教えていただいた先生方や一緒に勉強してきた同期生たちと私を支えてきてくれた先輩方と後輩たちです。今の私は、彼らあっての私だと言っても過言ではないでしょう。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

夢を追い、理想を追求し、足りない自分を磨くために、海外の大学院に行こうと思っていました。当時、言葉の壁と知識の壁にぶつかりながら、指導教授と相談し、入試に対して全力で準備して、幸いなことに進学が実現できました。しかし、大学院の勉強は決して順風満帆ではなく、かえって波乱万丈でした。入試の準備をしたものの、言葉の壁と知識の足りなさに追い込まれて、学問に底がないと実感し、猛勉強をしました。M1の時に、指導教授の下で、自分の研究に関連する授業を履修し、研究の基盤を築きました。

M2に入ると、国際部と指導教授の推薦をいただいて、無事財団法人大塚敏美育成奨学財団の奨学金を受給する事になりました。中国の酒類市場を研究テーマとしたので、この奨学金を受給する事により、日本で研究を行いながら、中国での市場調査やデータ収集するにあたり大変助かりました。調査会社に依頼し、研究の精度をたかめることができて、論文の結論を導き出しました。論文の執筆に、同期との切磋琢磨はもちろん、先生のご指導もなくてはならないものです。財団や先生と研究室の皆さんのおかげで修士論文を無事に完成させることができました。

春は、桜が咲く季節であり、私にとっては感謝する季節です。2年前はこの季節に不安と期待を抱えて関西大学に入学し、今年は感謝の気持ちでこの学校を出る事になりました。心境は不安と期待から感激と切ない思い出になり別れを告げました。この大学で、おそらく人生最後の学生生活を送り、恩師と仲間と出会い、知識を身につけ、社会に出て行くのです。このような関西大学で学んだことは一つしかなく、それはすべての事に感謝する事です。この気持ちを失わず、社会に歩んでいくことを願っております。

戻りたい場所

井上 晴可
（平28 修 総合情報学研究科）

私は、9年前に関西大学総合情報学部に入学し、関西大学の歴史と伝統により築かれてきた校風の中で、関西大学の空気を胸一杯に吸い込み、充実した日々を送って参りました。入学当時、パソコンが苦手でブラインドタッチすらできない私にとって苦戦の日々でした。目標もなく大学生活を過ごしていた頃、プログラミング実習を通じて田中先生と出会い、開発したシステムのバグと格闘しながら上手く実行された時の楽しさを知りました。そして、それをきっかけに田中先生の下で新しい技術や知識を習得したいと思い、3年生からゼミに所属しました。丁度その頃、私は入院生活を余儀なくされました。バンクーバーオリンピックに髙橋大輔選手が出場した際には、関西大学応援団の方

にラジオ番組で私の応援メッセージを代弁して頂いたこと、そして髙橋大輔選手が銅メダルを獲得したことで、病床ながら逆に感動と勇気を頂きました。私の人生の中で一番辛く苦しい期間でありましたが、家族だけでなく周りの方々に支えて頂き乗り越えることができました。そして、何としても自分の戻りたい場所、関西大学総合情報学部の仲間の所にもう一度戻りたいという強い決意を抱きました。夢中に没頭できるものを探したい、何か社会に貢献したいという想いから修士・博士課程に進学し、大学の教員を目指したいという明確な目標ができました。

私が所属する田中ゼミでは、これまでに17名の博士号取得者がおられ、その殆どの方が大学の教員となり活躍しています。当初は、博士号取得を目指すことに対して、本当に研究者として自立できるのか、といった不安や苦悩もありました。しかし、学術図書2冊の執筆活動、ビジネスプラン3件の応募、9個のアプリケーション開発とそのセミナーの運営、そして何よりも学術論文の執筆、海外発表など、ゼミの7年間、一歩ずつ地道に結果を残すことで、その不安や苦悩もしだいに解消されていきました。他にも、2級小型船舶操縦士免許、特殊小型船舶操縦士免許及びセグウェイ認定インストラクターの取得、国内外旅行の計21ヶ所、ゼミで様々な貴重な経験をさせて頂きました。関西大学で出会えた方々と共に汗をかきながら研究者として成長できたこと、信頼できる人間関係を築けたことは私の財産となり、大学教員を目指す気持ちがより一層強まりました。

また、ゼミ生の中には、関西大学体育会（カイザーズ）に所属している学生が在籍しており、彼らの試合がある度にゼミ生全員で応援に駆けつけました。カイザーズメンバーの卒業研究の補助や就職活動の助言など様々な支援をし、異なる目標を持つゼミ生と接することで、私自身新たな発見もありました。ゼミ生全体が、カイザーズメンバーの一人ひとりの能力に憧れ、また尊敬し合う中で、各々の目標に沿った未来を切り開けるように協力し合ってきました。このような環境の中で、人に教える楽しさ、人から信頼され期待される喜びを感じながら、教育者としての視点も大いに養うことができました。

関西大学の9年間で、研究者としての心得、そして、教育者としての心得を学ぶことができました。今後は、研究をより深く追求すると共に、私が関西大学で学んだ様々なことを次の世代の学生にも味わってもらえるような教員を目指して行きたいと思います。そして、将来、関西大学の名に恥じぬ国際的な研究者・教育者として活躍して行きたいと思います。

博修士会からのお願い

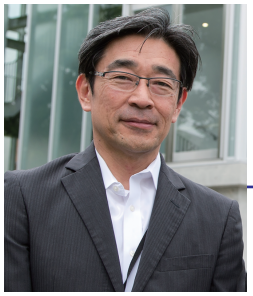
特別協力金のご協力をいただきました会員の皆様に厚くお礼申し上げます。会の財政が逼迫しておりますので、本年度も引き続きご協力をお願いいたします。1口1,000円、できれば2口以上お願いいたします。また終身会費15,000円を未納の方は、納入をお願いいたします。

郵便振替　00900－2－68733　関西大学博修士会

特別協力金納入者名簿（五十音順、敬称略）（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

網本	浩幸	岩井	治夫	緒方	正則	岡本	哲和	小幡	斎	加藤	正利	北嶋	弘一
北村	英子	木下	雅信	木村	昌司	桑田	須市	竿田	嗣夫	笹倉	淳史	笹邊	将甫
鹿田	幸治	篠塚	義弘	神保	敏明	豊田	純爾	富田	好久	中橋	久史	中下	寛治
中原	住雄	西崎	義男	羽間	弘	羽生	和子	東村	高良	藤井	栄喜	藤原	有和
古橋	秀章	松田	充弘	松本	始	水野	一郎	明神	信夫	横田	伸敬	横山	清美
和田	葉子												

大学院ニュース
Graduate School News



イノベーション創生センターの誕生
―学是「学の実化」を世にあらためて問い、共に歩むために―

イノベーション創生センター　センター長
化学生命工学部　教授　石川　正司

大学の社会での役割はやはりまず高等教育である。これによる人材育成が不可欠であり、大学の最重要機能と課題であることは論をまたない。大学で展開している教育には座学だけでなく、文系ならば創造的思考、調査解析、フィールドワーク、理工系ならば、理論と解析、実験研究、そして分野に限らず産官学を含めた共同研究を含むダイナミックな動き、「協働」がある。このような衆知を集める展開への流れは、一般的には「社会性を持つ」とか「社会実装・実用化」を目指すものである、とよくいわれるが、意義はそれだけではない。これはある意味、価値の公正なフィルターといえる。例えば、我々教員の価値観と研究成果は独創か独善かどちらであろうか。小職もよく自問するが、客観的にはタコツボ型の研究に陥ることもあり得る。教育機関である大学では基礎、応用どちらにしても将来を担う人材に沿った「価値」が必要である。この保証ができるのは提案者の我々ではなく、人が集うことであると考える。何故ならば、基礎研究においても応用研究においても、その意味あるいは感性に対して賛同者が現れないことには、大学の普遍的価値、すなわち教育のステージに還元できる内容にはなり得ないと感ずるからである。

前置きが長くなったが、まさにこのような意味において、本学で生み出された基礎的、独創的な発想、科学と技術、そして社会での展開やマーケティングについて、協働できるものが価値を共有し、共に考え、行動を起こすためのベースキャンプとして「イノベーション創生センター」は誕生した。センターの組織は2016年4月に誕生したが、悠久の庭の図書館側に建物が竣工したのが同年の9月である。前述したように、対象は多彩であり、理工系の研究がシーズになるもの、文系学部が社会戦略を練るもの、あるいはベンチャーの設立を行うものなど、学内の教員、学生が主導する展開も幅広い。加えて、学外からの流れ、これには学内で見出されたシーズから発展し、公的資金プロジェクトのアライアンスとして展開中のもの、さらには企業との共同開発、単なる1対1の共同研究に留まらず、複数の企業と教員、逆に企業と複数の教員との共同開発などのマルチリンクの人的ネットワークも展開している。

このように、関西大学には従来なかった機能と展開力を持っていることを感じていただけるはずである。1階には事務室以外に広大なカフェがあり、文字通りカフェ空間であるのみならず、対話やゲストのミニ講演も行っている。話題提供者は企業のイノベーター、ベンチャーの先達、お店のオーナーなど多彩である。2階では社会科学的アプローチが進められ、同時に、地下と3階以上のフロアでは理工系の先駆的研究と稼働中のベンチャー、企業のラボが開発に勤しんでいる。

個々のプロジェクトをここでご紹介する紙面の余地はないが、大学創立130周年、この時代において、学是の「学の実化」を体現する最も望ましいかたちであると信じる。内外、お立場、分野を問わず、本センターへの積極的なご参加をお願い申し上げる次第である。130周年記念事業として創生された本センターが、まさに将来を創生するベースキャンプとして機能するよう、ここに集う方々と共に楽しみ、ある時は苦しみ、そして価値を共有していきたいと願うものである。

法学研究科で学ぶアフリカ人留学生たち

アミシ・デビッド・カブウェ

私はコンゴ民主共和国の出身です。私は、国家公務員でタンガニーカ州の鉱山地区のカレミーで鉱山地質省の監督官として働いています。コンゴ経済は鉱業に依存していますので、私の仕事は鉱業活動を監督し、モニタリングすることです。この仕事は、鉱業政策の意思決定の中で鉱業の運営者が環境問題を重視しているかを検証し、鉱物資源の密輸を抑制するためにはとても重要です。簡単に言えば、この仕事は鉱山業法と規制法の規程の実施です。

私は、偶然、JICAのアフリカ・ビジネス教育プログラムを知りました。これは、アフリカ人の学生に日本の大学や大学院で学ぶ機会を提供するものでした。そこで、私はそれに応募することにしました。私は、技術先進国の日本の経験と知識を移転することでコンゴの発展に貢献できると考え、この機会に魅力を感じました。日本はアフリカ人の知的な能力を高め、研究の後、それぞれの国の発展に貢献できるようにしてくれる国だと思います。

私がなぜ関西大学を選んだかというと、自分の出身大学で学んできた法律の分野で研究を続けられる法学研究科があり、英語で教えてもらえるからです。私は、このプログラムに選抜された後、関西大学の法学研究科で大学院生として受け入れてもらいましたが、各科目の授業やセミナーの勉強に忙しくしています。今は修士論文を準備しています。そのテーマは、「コンゴ民主共和国における鉱山業改革の問題」です。その論文の一部として、私は、なぜ日本は資源が不足しているにもかかわらず大きく発展できたのかという問題をはじめ歴史的な背景を研究し、また、法制度のパースペクティブを分析し、コンゴ民主共和国の鉱業経営の公的政策を検討し、技術移転についても分析するつもりです。これは、持続可能な発展のためにコンゴ民主共和国で必要な鉱山業の法制改革に示唆を得るためです。

関西大学での私の生活のなかで、他のアフリカ人留学生と同様に山名美加教授の指導を含めてとても大きな支援を受けています。キャンパスは素晴らしい施設と美しい緑の環境にあふれています。関西大学は研究にとっても立派な場所です。学生の宿舎についても、日本人の学生の支援はとてもありがたいです。どんな時にでも日本語で助けてくださいます。また、他の国際プログラムで来ている外国人学生たちともたくさんの交流の機会があります。とても恵まれた環境に暮らしていると思います。

大学院で修士号を取った後にコンゴに帰りますが、この国で学んだすべてのことを自分の国にもって帰ります。それは、コンゴの開発にきっと役に立つと思います。日本には法律学を英語で学べるところは少ないと聞いていますが、もし自分の国の若者たちが日本で学びたいと言えば、関西大学に来ることを考えるように勧めます。それこそ人生の最善の選択になると思うからです。

ノハ・アフィフィ

私はエジプトのアレキサンドリアから来たノハ・アフィフィです。北アフリカにあるエジプトはピラミッドで有名です。私の生まれた町は地中海のきれいなビーチで有名です。

私は、今、関西大学大学院の法学研究科の修士課程で勉強しています。とくに知的財産権や技術移転について研究しています。私が関西大学にこられたのは、日本政府がJICAを通してアフリカ諸国に提供しているアフリカ・ビジネス教育イニシャティブの奨学金のおかげです。この奨学金の目的は、若い人たちがアフリカの産業の発展に貢献したり、日本とアフリカの協力関係を促進するのを支援するためです。

私は、日本に来る前、エジプト・日本科学技術大学（E-JUST）で法律と技術移転の専門家として働いていました。この大学はアレキサンドリアにあって、エジプトと日本の政府の協力で設立されました。その目的は日本の学問的環境をエジプトに持ち込み、教育の分野でエジプトと日本のベンチマークとすることでした。

技術移転の分野はエジプトでは比較的新しいものです。しかし、私の考えでは、発展の主要な柱だと思います。社会の必要性と研究・教育を有効に結びつけることで国は生産力を高めることができるし、よりよい仕事を生み出せると思います。日本は、この分野で大きな成功を収めています。私は、ここから多くを学び、自分の国に恩恵をもたらすことを希望しています。

私が日本にきたのは昨年の8月でした。それ以来とても素晴らしい時間を過ごしています。私は、この関西大学で質の高い教育を受けていますが、これは先生がたのおかげですし、とても感謝しています。私は、日本の文化、自然、食べ物を楽しんでいます。日本はハイテクの先進国であるだけでなく、新しいものと古いものがとてもユニークにまじりあっています。鮨は、とても好きな食べ物で、一週間に2回はたべています。たこ焼きと小豆もとてもおいしいです。

けれども日本での私の好きなのは、日本の人たちです。とても親切で、この国で広がった校友関係を誇りに思います。今の私にとって日本は第二のふるさとです。日本とエジプト、そして世界をつなぐ架け橋になりたいと思っています。

ベラミ・ビンガ・クリストファー

私の名前はベラミ・ビンガ・クリストファーで、26歳です。アフリカの中央にあるフランス語圏の国、コンゴ民主共和国から来ました。私は、法律の専門家です。法律学の学士号をキンシャサ大学で取得して、現在キンシャサ法律家協会の会員です。コンゴにいる間、ボダコム・コンゴで働いていました。この会社は、世界最大のテレコム会社のボダコム・イギリスの子会社です。私は、この会社の法律問題とコンプライアンスの支援者として働いていました。

その後、退社してアフリカ・ビジネス教育イニシャティブのプログラムで日本に来ました。

ABEイニシャティブは素晴らしい事業です。それは、私に自国の発展に貴重な貢献ができる素晴らしい機会を与えてくれました。とくに、アフリカへの投資を望んでいる日本の民間セクターとの強力なパートナシップを通して貢献できるでしょう。

日本国内で指導的な役割を果たしている総合大学としての関西大学では、私は大学院の法律学修士のプログラムに登録して、とくに知的財産に関心をもって勉強しています。大規模に生じている複雑な課題に対処する知識を常に身につけて、専門的知識をもった人たちと議論する中でりっぱな法律家となりたいと思います。私の研究は、この分野でのグローバルな協力の一部として、また、特定の産物に著しく依存している私の国の経済を多様化するために、どのようにすれば十分な法律制度と技術移転の枠組みを整備できるかという課題について解決策を考えるというものです。これが解決できれば、新しい科学技術の突破の企てにとってもっとも重要な遺伝子産業、あるいはバイオテクノロジー産業を含むさまざまな分野の間でウイン・ウインのパートナーシップを確立できるでしょう。

日本で私の研究計画を完成した時には、故国に帰国し、このスキルを生かすつもりです。また、私が身につける機会のあった日本のビジネス文化と哲学も生かすつもりです。

最後に、素晴らしい日本に称賛の気持ちを表したいと思います。技術、文化、食べ物（たこ焼き、お好み焼き、ラーメン）、花見。日本がとても好きです。

総会議案書

〈第1号議案書〉

平成28年度事業報告

平成28年4月　1日から
平成29年3月31日まで

[1] 総会に関する事項
平成28年度 総会・学術講演会・懇親会
開催日時：平成28年7月30日（土）13:30～
開催場所：関西大学 校友・父母会館
来　　賓：池内　啓三　関西大学 理事長
渡邊　泰之　関西大学 校友会副会長
畑　　勝美　関西大学 校友会事務局次長
仁井　裕実　関西大学 女子秀麗会会長
藤井喜代子　関西大学 女子秀麗会副会長
◇第1部　総会（議事）：2階会議室
（1）平成27年度事業報告
（2）平成27年度収支決算および監査報告
（3）平成28年度一般会計収支予算案
（4）役員改選
◇第2部　学術講演会：2階会議室
演　題：「『大阪』に生まれた大学として
―関西大学なにわ大阪研究センター設立を祝して―」
講　師：藪田　貫 先生（関西大学 名誉教授）
◇第3部　懇親会：レストラン「紫紺」

[2] 役員会に関する事項
◇理事会
• 平成28年4月2日（土）18:00～
関西大学100周年記念会館　レストラン紫紺「桃源」
（総会・学術講演会・会報発行計画・決算・予算の件、その他）
◇常任理事会
• 平成29年2月25日（土）18:00～
関西大学100周年記念会館　レストラン紫紺「桃源」
（修士記授与式、入会案内・入会受付手続き・記念写真撮影に関する件、平29年度総会・学術講演会・会報発行計画、役員推薦の件等）
◇その他
（1）平成28年4月2日（土）
• 大学院入学式に出席（千里山中央体育館）（会長コーナ）
学生会員への勧誘資料配布（総務部・広報部・財務部）
（2）平成28年4月3日（日）
• 2016スプリングフェスティバル（千里山キャンパス）に参加（会長コーナ）
（3）平成28年6月11日（土）
• 校友会第107回定時代議員会（関西大学100周年記念会館）に出席（会長コーナ・総務部）
（4）平成28年7月1日（金）
• 「会報2016年号」を編集・発行（広報部）
（5）平成28年7月2日（土）
• 全国組織代表者会議（関西大学100周年記念会館）に出席（会長コーナ）
（6）平成28年8月20日（土）
• 関西大学フェスティバル in四国（JRホテルクレメント高松）に出席（会長コーナ）
（7）平成28年10月16日（日）
• 平成28年度校友会総会（関西大学BIGホール100）に出席（全部署）
（8）平成28年11月4日（金）
• 関西大学創立130周年記念式典（関西大学BIGホール100）に出席（会長コーナ）
• 関西大学創立130周年記念祝賀会（関西大学100周年記念会館）に出席（会長コーナ）
（7）平成29年1月14日（土）
• 校友会新年互礼会（大阪新阪急ホテル）に出席（会長コーナ）
（8）平成29年1月28（土）
• 校友会臨時（108回）代議員会（関西大学BIGホール100）に出席（全部署）
（9）平成29年3月21日（火）
• 大学院学位（修士・専門職）記授与式（関西大学BIGホール100）に出席（会長コーナ）
• 新会員の入会勧誘資料配布（総務部・渉外部・財務部・広報部・事業部）
• 記念写真撮影（渉外部・事業部・総務部）

〈第2号議案書〉

平成28年度収支決算報告書

一般会計収支決算書

自　平成28年4月　1日
至　平成29年3月31日

（収入の部）　（単位：円）

項　目	予算額	実行額	差引差額
経常収入	831,000	687,008	143,992
1. 会費収入	300,000	312,000	▲12,000
① 正会員入会金収入	60,000	0	60,000
② 院生会員入会金収入	240,000	312,000	▲72,000
2. 事業収入	180,000	95,000	85,000
① 総会会費収入	150,000	95,000	55,000
② 広告料収入	30,000	0	30,000
3. 雑収入等	351,000	280,008	70,992
① 雑収入	50,000	58,002	▲8,002
② 特別協力金収入	300,000	222,000	78,000
③ 受取利息	1,000	6	994
前期繰越金	1,096,649	1,096,649	0
合計	1,927,649	1,783,657	143,992

（支出の部）　（単位：円）

項　目	予算額	実行額	差引差額
経常支出	1,083,000	989,420	93,580
1. 一般管理費	223,000	121,075	101,925
① 通信費	50,000	22,638	27,362
② 事務用消耗品費	80,000	54,529	25,471
③ 支払手数料	13,000	9,868	3,132
④ 雑費	80,000	34,040	45,960
2. 会議費	270,000	222,960	47,040
① 総会費	200,000	149,160	50,840
② 諸会議費	70,000	73,800	▲3,800
3. 事業費	590,000	645,385	▲55,385
① 印刷費	450,000	457,105	▲7,105
② 修士記授与記念写真費	100,000	34,980	65,020
③ 記念品費	40,000	153,300	▲113,300
予備支出	30,000	0	30,000
予備費	30,000	0	30,000
当期支出合計	1,113,000	989,420	123,580
次期繰越金	814,649	794,237	20,412
合計	1,927,649	1,783,657	143,992

総 会 議 案 書

特別会計収支決算書

奨 学 金 特 別 基 金

自　平成28年4月　1日
至　平成29年3月31日

（単位：円）

収入の部	金　額	支出の部	金　額
前期繰越金	1,204,929	次期繰越金	1,204,943
受取利息	14		
合　計	1,204,943	合　計	1,204,943

名 簿 特 別 勘 定

自　平成28年4月　1日
至　平成29年3月31日

（単位：円）

収入の部	金　額	支出の部	金　額
前期繰越金	853,552	次期繰越金	853,562
一般会計より入金	0		
受取利息	10		
合　計	853,562	合　計	853,562

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

（資産の部）　（単位：円）

科　目	摘　要	金　額
普通預金	一般会計収支（りそな／難波）	116,066
振替貯金	一般会計収支（ゆうちょ／大阪事務センター）	670,960
通常貯金	一般会計収支（ゆうちょ／大阪事務センター）	7,211
小　計		794,237
普通預金	特別会計　奨学金特別基金用（りそな／難波）	1,204,943
普通預金	特別会計　名簿特別勘定用（りそな／難波）	853,562
合　計		2,852,742

（負債及び正味財産の部）　（単位：円）

科　目	摘　要	金　額
正味財産	次期繰越金	2,852,742
合　計		2,852,742

監 査 報 告 書

関西大学博修士会
会長　北嶋　弘一殿

私たちは、平成28年4月1日から平成29年3月31日に至る一般会計収支決算書、奨学金特別基金および名簿特別勘定の特別会計収支決算書、ならびに財産目録について監査を実施いたしました。

監査の結果、上記決算書類は、適正なものであることを認めます。

平成29年4月27日

監　事　澤　　勲
監　事　竿田嗣夫
監　事　水野一郎

〈第3号議案書〉

平成29年度 一般会計収支予算（案）

自　平成29年4月　1日
至　平成30年3月31日

（収入の部）　（単位：円）

項　目	予算額	摘　要
経常収入	831,000	
1. 会費収入	300,000	
① 正会員入会金収入	60,000	正会員入会見込 15,000円×4人
② 院生会員入会金収入	240,000	院生会員入会見込 12,000円×20人
2. 事業収入	180,000	
① 総会会費収入	150,000	総会出席見込 5,000円×30人
② 広告料収入	30,000	広告掲載見込 10,000円×3件
3. 雑収入等	351,000	
① 雑収入	50,000	お土産料、記念写真代他
② 特別協力金収入	300,000	
③ 受取利息	1,000	預金利息等
前期繰越金	794,237	
合　計	1,625,237	

（支出の部）　（単位：円）

項　目	予算額	摘　要
経常支出	1,123,000	
1. 一般管理費	223,000	
① 通信費	50,000	総会、役員会案内発送費
② 事務用消耗品費	80,000	文房具、事務用品費
③ 支払手数料	13,000	振込、振替送金手数料
④ 雑費	80,000	
2. 会議費	280,000	
① 総会費	200,000	懇親会費
② 諸会議費	80,000	役員会会議費等
3. 事業費	620,000	
① 印刷費	480,000	会報、総会案内状印刷費
② 修士記授与記念写真費	100,000	
③ 記念品費	40,000	
予備支出	30,000	
予備費	30,000	
当期支出合計	1,153,000	
次期繰越金	472,237	
合　計	1,625,237	

＊予備費の支出は、役員会の承認を得るものとする。

〈第4号議案書〉
役員改選

平成28年度 第64回博修士会総会・学術講演会

夏季恒例の博修士会総会は、7月30日（土）13時から関西大学校友・父母会館で、池内啓三理事長、渡邊泰之校友会副会長、藤井喜代子女子秀麗会副会長、畑勝美校友会事務局次長を来賓にお迎えして開催された。

総会では、参加者一同の黙祷と学歌斉唱、渡邊校友会副会長のご挨拶を頂戴した後、平成27年度の事業報告と収支決算報告、そして平成28年度予算が審議了承され、次期役員として北嶋会長が満場一致で再選された。

続く学術講演会では、藪田貫関西大学名誉教授から、「『大阪』に生まれた大学として―関西大学なにわ大阪研究センター設立を祝して―」と題して、大阪初の大学を受け入れ、根付いてきた“なにわ大阪”の風土・歴史や文化的背景について興味深いお話を伺うことができた。同名誉教授は、とりわけ豊臣期大坂図屏風を例にあげながら、また泊園書院にも触れつつ熱弁を振るわれた。

講演後、レストラン「紫紺」での懇親会では、終始和やかな宴を過ごすことができた。（博修士会　広報部）

703人の新博修士の誕生 742人の新入生を迎える

平成29年度 大学院学位記

2016（平成28）年度関西大学大学院学位記（修士・専門職）授与式は3月21日に千里山キャンパスのBIGホール100で行われた。学位被授与者は前期課程（修士）588人、専門職72人の合計660人であった。当日の会場は、修了生とそのご家族で満員であった。また、43人の博士が誕生した。

修了生に対して、学位授与に繋がった毎日の地道な研鑽に敬意を表した芝井学長は、学問・研究は何のためにあるのかとの根本的な問いと向き合い、関西大学で学んだことを誇りに持ち、未来の社会を切り拓く人となって頂きたいと激励した。

2017（平成29）年度大学院入学式は4月3日に千里山中央体育館で行われた。春学期の入学者は博士課程前期課程ならびに修士課程577人、博士課程後期課程68人、専門職大学院97人、合計742人であった。

新入生に対して、芝井学長は、学術の世界に真剣に向き合う経験をへて、成長の階段を一歩一歩のぼることにより、大いなる成長を心から期待していると式辞を送られた。

（博修士会　広報部）

お知らせ!

ホームページも見て下さい！

http://www2.kandai-koyukai.com/al/kandai-md/

博修士会会報 2017年号
2017年7月1日　発行
発行人　北嶋　弘一　　編集人　北川　勝彦
発行所　関西大学博修士会
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
関西大学校友会事務局気付